

平成25年度 宮城県環境影響評価マニュアル（風力発電所設置事業） 追補版の作成状況について

1 マニュアル検討部会開催状況

- (1) 平成25年10月9日(火)
 <内容> 素案の説明，審議（部会后，個別のヒアリング等を実施）
- (2) 平成25年12月17日(火)
 <内容> 前回検討内容・委員からの意見等を踏まえた原案の説明，審議

氏名	所属	専門分野	備考
菊地 立	東北学院大学 名誉教授	大気質（気候・気象）	部会長
鈴木 陽一	東北大学 電気通信研究所 教授	騒音，振動，電波障害	
平野 勝也	東北大学 災害科学国際研究所 准教授	景観（環境・測量学）	
山本 和恵	東北文化学園大学 科学技術学部 教授	日照障害等（建築計画）	
由井 正敏	(社)東北地域環境計画研究会 会長	動物（猛禽類）	

2 追補版作成のポイント

- (1) 風力発電所設置事業の条例対象化に伴い新たに追加された評価項目である「風車の影」「電波障害」に加え，当該事業特有の影響が想定される「騒音・低周波音」「動物(バードストライク)」「景観」について，調査・予測・評価のポイントを検討した。
- (2) 作成の方法としては，環境省等が発行している既存の手引き，ガイドライン，報告書等の抜粋・整理により骨子を作り，部会委員からの御助言又は御紹介のあった文献等により肉付けし，構成を検討した。

3 検討の内容

(1) 全体的事項

当該追補版のみを読んだだけでもおおよその意味が通じるように，既存マニュアルからの要約引用やページ記載により，つながりに配慮した構成を検討した。

(2) 個別的事項

- ① **風車騒音**については，可聴音によってもたらされるアノイアンス（心理的不快感）が問題となるため，ISOやNED0マニュアルを基に定量的に予測し，特に夜間の騒音に留意して適切に評価するものとした。(p34, p37~38)
- ② **風車の影**(シャドーフリッカー)については，時刻別日影図及び等時間別日影図の作成により予測し，住宅等には原則として影が及ばないことが望ましいものとした。(p44~45, p49)
- ③ **電波障害**については，フラッター障害が発生する可能性について，NHK受信技術センターが提案するモデル式等により予測するものとした。(p19~20, p60)
- ④ **バードストライク**の発生確率については，適切な衝突確率モデルを用いた衝突数の解析により定量的に予測するものとした。(p74)
- ⑤ **景観**については，可視解析により視認範囲を明確にするとともに，可視範囲内における人口，住宅数及び土地利用区分等の社会的状況を把握した上で予測・評価するものとした。(p32, p88~100)